

特別展「空也上人と六波羅蜜寺」

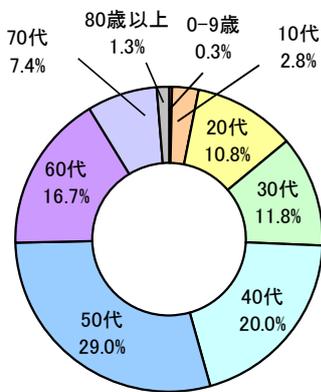
アンケート集計結果

開催期間：令和4年3月1日（火）～5月8日（日）（62日）

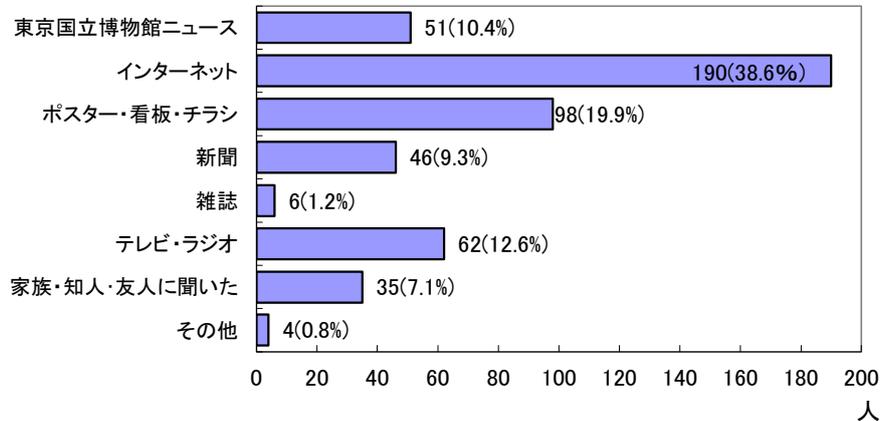
総入館者数：146,085人

回答者数：390人

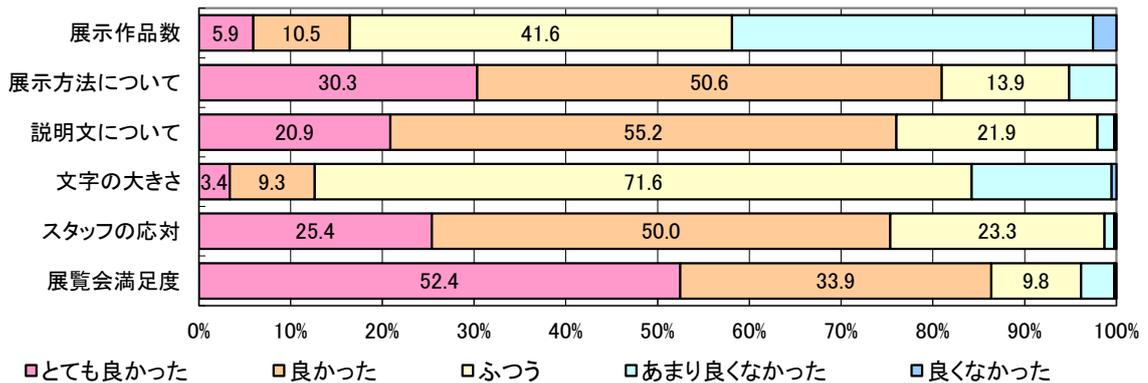
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・貴重な仏像を実際に見られてよかった。
- ・空也上人立像を全方向から見られたのがよかった。
- ・作品数としては多くなく、時間をかけてゆっくり見ることができた。
- ・照明がケースに反射して作品が見えにくかった。
- ・事前予約制のわりに混んでいた。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	39.3	2.6
展示方法	5.1	0.0
説明文	1.8	0.3
文字サイズ	15.2	0.5
スタッフの対応	1.0	0.3
展覧会の満足度	3.6	0.3

(%)

2022年は、空也上人の没後1050年にあたります。空也上人は、疫病がおさまり世の中が穏やかになるように祈り、京都東山の地に西光寺（現在の六波羅蜜寺）を創建しました。本展では、市井の人々から絶大な信仰を得た空也上人の足跡をたどりながら、六波羅蜜寺の歴史をたどり、古くからの埋葬の地であった鳥辺野という独特の立地がもたらした信仰の蓄積をご紹介します。東京では半世紀ぶりの公開となった空也上人立像をはじめ、創建時につくられた四天王立像、定朝作と伝えられる地蔵菩薩立像、運慶作の地蔵菩薩坐像、伝平清盛坐像など、平安・鎌倉彫刻の名品が一同に会する貴重な機会となりました。

本展を観覧しアンケートに答えた86.4%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的なご意見が寄せられました。それぞれの作品を間近にじっくりと観覧できるような展示方法や、空也上人立像を360度鑑賞できることなどが、満足度を高める結果になったと考えられます。

一方で、照明による作品の見づらさや、会場の混雑についてのご意見もいただきました。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。